

令和5年度の重点課題

- 新体力テストの総合評価のAB率55%、DE率20%、（（AB-DE）率36%）
- 第5学年の男女とも、「上体起こし」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体では、外遊びをしない児童の固定化が見られ、放課後等の学校外での外遊びの機会も減少している。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- 「上体起こし（筋力・筋持久力）」を高めるため、パワーアップタイムで練習機会を設けた。
- 児童会の体育委員会が主体となって、年に2回、ドッジボールクラスマッチを行い、投げる運動の普及を図った。
- 年間を通して、パワーアップタイムを行い、長縄や短縄での運動や体づくり運動に取り組ませた。
- 規則正しい生活習慣を身に付けさせるために、養護教諭を中心に保健指導を行った。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値（令和5年度）・全国平均値（令和4年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.79	19.79	33.74	40.74	48.95	9.29	150.05	20.26	53.37	第5学年	16.90	17.76	35.57	38.67	36.10	9.62	134.52	13.52	53.05

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.79	19.79	33.74	40.74	48.95	9.29	150.05	20.26	53.37	第5学年	16.90	17.76	35.57	38.67	36.10	9.62	134.52	13.52	53.05

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	63.16	36.84	0.00	0.00

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	33.33	66.67	0.00	0.00

学校独自の意識調査

【7・12月に行った児童アンケートの肯定的回答】
Q 友達と体を動かすことが楽しいですか？ A 94.8%（7月）→ 92.8%（12月）

重点課題

情意面での課題

- 男子・女子
- ・運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える割合がどちらも100%であるにも関わらず、体力の向上につながっていない。（第5学年）
- ・平日に学習以外で、1日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を2時間以上見ている割合が、45%いる。（第5学年）

体力面での課題

- 男子
- ・県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較において、「立ち幅跳び」、「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
- ・県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較において、「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 学校全体
- ・総合評価D及びEの児童の割合が全体で28%である。（前年比↓4%）

令和7年度の
重点目標値

- 「長座体前屈」「立ち幅跳び」を県平均及び全国平均値以上にする。
- 総合評価D及びEの児童の割合を全体の25%未満にする。
- 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える児童の割合を男女とも95%以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 【情意面】
- 意欲的に授業に参加できるようにするために、段階的な目標を設定し、小さな成功体験を積み重ねることができるようにする。
 - 本領域・単元ごとに身に付く力（体力評価）を児童と共有する時間を設けることで、振り返る視点を明確にする。
- 【体力面】
- 授業の中での運動量を確保するために、主運動につながる感覚づくりの運動を充実させる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 【情意面】
- 年2回のドッジボールクラスマッチを通して、学級で外遊びをする機会を設ける。
 - 遊び方の紹介など、体育委員会が中心となって、全校で体を動かす機会を設ける。
 - 養護教諭の保健指導により、生活習慣の見直しを図る。
 - 保健だより等により、家庭でも運動習慣を促す。
- 【体力面】
- 年間を通して週3回のランニングに取り組み、基礎的な体力を高める。
 - 基礎体力や柔軟性・瞬発力など、新体力テストに向けた動きの質などを高めることができるように、体力テストまでの期間は課題種目に特化した取組を、パワーアップタイムで行う。